

1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成

地域 (7名)	
教育委員(2) 社会福祉協議会(1) 民生・児童委員(1) 地域コーディネーター:教委事務局(3)	
家庭 (5名)	学校 (5名)
小・中PTA会長 保護者(幼・小・中)	小・中校長・教頭 こども園主幹教諭

(2) 協議会の開催計画

開催回数・日程

年2回(6月25日・2月18日)

協議内容

- ・活動方針、活動内容(6月)
- ・教育計画、地域と進める体験(同)
- ・学校評価計画(同)
- ・本年度の教育活動(2月)
- ・学校評価の結果(同)
- ・協議会の活動の振り返り(同)

(3) 協議会における成果と課題

本年度から町教委事務局に学校教育グループが位置づけられ、本校の地域コーディネーターの役割も担っていただいている。下記の「黒豆、小豆の栽培」や5年生の「福祉学習」を実施するにあたり、地域資源や地域人材の活用に関する事務から当日の運営補助まで、多大な支援をいただいた。この体制を維持し協力関係を継続していくことが次年度の課題である。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

池田町の自然や人とのかかわりの中で、地域の良さを再発見したり、池田の農業の特色を学習したり、課題を見つけたり解決したりする体験活動を行うことで、ふるさと池田に誇りや愛着を持ち主体的に活動する子を育てる。

(2) 活動の実際

① 黒豆、小豆の栽培(全校)

6月5日に3～6年生は、農家の方から池田町の自然や農業の特色について話を聞いた。その後、学校近くの畑で、町内の農家やファームFの協力を得て、全校児童が、縦割り班で黒豆と小豆の豆を植えた。さらに、高学年児童が鳥被害防止ネットを設置した。また、トラクターで植えるところの実演を見学し、池田町の最近の農業の様子を知ることができた。



9月20日に、全校児童が黒豆の枝豆を収穫した。池田町は、寒暖の差があるので、ゆでた枝豆は大変おいしくて児童や家族は大変喜んでいました。

2月28日には、3・4年生が収穫した小豆を使って水ようかん作りを体験した。池田町で実ったおいしい小豆を使った水ようかんはとてもおいしかったようだ。また、池田町のお米で作った米粉パンに小豆のあんやカレーを入れた揚げパンも試食した。児童は、改めて池田産の食材のおいしさを感じることができた。



(様式3)

② **パンフレット作り（6年生）**

6年生は、国語科の学習の『池田町おすすめの場所のパンフレットを作ろう』の中で、今年度は、パンフレットを作り、町内の施設で配付することに決定した。そして、12月4日に4班に分かれて「ツリーピクニックアドベンチャー」「ふるさとふれあい道場・かずら橋」「鶉甘神社」「池田農村観光協会」に取材に行った。取材では、タブレットを使って写真や動画を撮りながら、記録をしていた。その後、記録をもとにパンフレットを作った。3月には、町の施設にリーフレットを置かせていただいた。



③ **福祉学習（5年生）**

5年生は、こども福祉委員「ミライレンジャー」として、池田町の宝を探す活動や池田町の人との触れ合い、みんなが集まれる場所づくりを企画し、実行した。

まず、夏休みに町の社会福祉行事である「ふれあいサロン夏祭り」にボランティアとして参加し、お年寄りの生きがいの場を提供した。

2学期には、池田町の残したい宝は何かを考え、それを紙芝居に表し、「ほっとプラザ」のクリスマス会で発表した。

3学期には、「みんなが集まれる場所づくり」を企画し、お年寄りと交流した。



(3) **地域コーディネーターの活動概要**

「黒豆、小豆の栽培」や5年生の「福祉学習」を実施するにあたり、地域人材を紹介していただいた。また、活動の運営補助等、多大な支援をいただいた。

(4) **特に工夫した事項**

- ・町内の農家や米穀共同屋、ファームFの協力を得て、学校近くの畑で黒豆、小豆を栽培し、収穫することにした。農家と事前に何度も打ち合わせをして作物を決定し、収穫の時期や加工食品ができないか協議を繰り返した。
- ・児童が、池田町の自然や環境にやさしい農業を学習したり、実際に機械を使った農業を見学できるようにしたりした。

(5) **成果と課題**

児童は、池田町の農業の特色を学習したり、池田で黒豆と小豆を栽培したり、枝豆を試食したりすることで池田町の農業の魅力を再発見していた。

収穫した黒豆と小豆を販売しようとしたが、収穫した後乾燥させる期間が必要で、食の文化祭で販売することができなかった。そこで、来年度販売する黒豆と小豆を確保した。

池田町の農業の将来を考えるに当たり、農業に従事する人から、農業の課題や工夫についてさらに話を聞く機会を持つ必要がある。

5年生の「福祉学習」、6年生の「パンフレット作り」の活動は、地域を知り、地域に貢献する大変すばらしい活動になっている。しかし、年々活動内容が膨らみ、かなりの時間が割かれることになる。今後内容の精選が必要である。